

事業所名		社会福祉法人 ほかにわ共和国 デイ雲		支援プログラム		作成日		7	年	1	月	15	日
法人（事業所）理念		共汗教育…障害の有無に関係なく人として共に汗を流し共に育つ。 終生拡大家族構想…地域の仲間と市民となって一緒に生きる権利をもつ。 3安プラス1安…「安心・安全・安定」プラス「安価」						地域共生…施設が社会資源として老若男女誰もが気楽に集まる場をつくる。 水流穴満…水が高いところから穴を満たし流れるように、福祉への理解や我々の思いを伝える。 至誠通天…職員は誠をもって事に当たれば神に通じる。					
支援方針		利用するライフステージに応じた個別支援計画の作成と支援を実施し、利用する方の意志を尊重したサービスの提供に努め、家族の方と連携を図り、出来る限り満足できる支援やサービスの提供に取り組む。 地域の社会資源として、安心して福祉サービスの相談ができ、集う場として社会貢献に取り組む。											
営業時間		8	時	00	分から	17	時	00	分まで	送迎実施の有無		ありなし	
		支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	利用時に本人のバイタルチェックを確認、状態の様子観察を行い必要に応じて電話連絡又は連絡帳を使用し情報共有を行う事で安定した生活が送れるよう支援する。 学校等の関係機関と情報を共有することで健康状態や精神状態を把握しその状態に応じた支援を提供する。											
	運動・感覚	体育館や、権田公園などの地域資源を活用し、個別又は集団指導を行う中で本人の能力を引き出し活動を行う。室内では木製パズルや折り紙、塗り絵などを提供することで感覚支援に取り組む。 レクリエーション活動などに取り組むことにより体を動かす機会を提供する。											
	認知・行動	利用時の行動を時間分け、スケジュールを掲示することにより行動にメリハリがつけれるように取り組む。 絵カード等視覚で判断できる環境を整え、行動や自己決定が出来るよう支援する。											
	言語コミュニケーション	会話を持つことで個人が希望することや、困りごとなどの伝え方・伝えるタイミングなどを知ってもらえるように支援を行う。 様々な年齢層（小学校から高校生・18歳以上の生活介護）の方とコミュニケーションをとる中で、挨拶やその場面に適した言葉遣い等コミュニケーション能力の習得が出来るよう支援する。											
	人間関係社会性	様々な年齢層（小学生から高校生・18歳以上の生活介護）の方と接することにより、より良い人間関係を学ぶことができる環境を提供する。 日中活動を通して活動の中で社会的なルールを学べる機会を提供する。											
家族支援		送迎支援を実施、可能な限りドアツードアでの対応を行う 保護者の就労状況に伴う預かり支援の実施 連絡帳を活用し日々の活動内容や状態を伝える						移行支援		相談支援事業所と連携して、移行先との調整や連携を図る			
地域支援・地域連携		学校と連携し情報共有を行い、支援方法の統一化を行う 南島原市こども支援部会への参加 南島原市こども未来課との連携を図る						職員の質の向上		年3回の事業所内研修の実施 外部研修への参加 年6回の法人内研修の実施 強度行動障害支援者研修の参加			
主な行事等		誕生会（誕生月に実施） レクリエーション大会 上映会 手作り昼食 セタ会 プール（中庭） 納涼祭 一日外出 手作りおやつ ほかにわ運動会（法人） ハロウィン ほかにわ神社祭（法人） クリスマス会 餅つき体験 初詣 正月遊び 活動発表会											